

プロ野球選手とファンが交流!

【右】巨人・坂本勇人内野手【右上】日本ハムで駒OBの増井浩俊投手と白鳥大



【上・下】ファンと交流する阪神で駒大OBの新井貴浩内野手



【左】ロッテ・渡辺俊介投手



【上】大学時代に対戦したことがある中日・中田亮二内野手と上村新



2010

駒大野球部もプロ選手のSPとして参加しました!【左】ヤクルトの押本健彦投手に付く白崎浩之と井口拓哉

ベースボール・クリスマスin駒沢

駒大を卒業してから11年。新井貴浩選手(阪神タイガース)が「プロ野球選手会が長」として母校近辺に凱旋した。

12月4日に駒沢オリンピック公園総合運動場で開催された「ベースボール・クリスマス2010 in駒沢」に新井選手が参加。キャッチボールの楽しさを伝えるために12球団の現役選手らが一体となって企画したイベントで、子供たちから大声援を受けた。

自然と笑みもこぼれた。子供たちの懸命に投げる姿や、楽しんでほし」と、さらなる活躍に期待していた。(山田 遼太郎)

「野球をする姿から「野球の原点に戻れる」。壇上では「僕より回転のいいボールを投げる子がたくさんいる」と、聴衆の笑いを誘い、集まった1万人のファンとの交流を楽しんでいた。

イベントには後輩の硬式野球部もボランティアとして参加。「本当にありがたかった」と話すと同時に、6季ぶりの1部復帰について「うれし帰について「うれし。ずっと気になってきた。ただ、これがスタートライン。頑張っ

OBから1部復帰に祝福の声

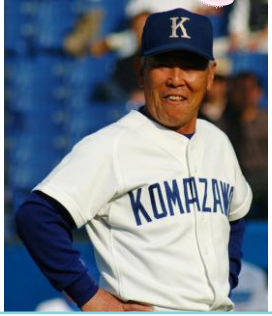
古橋慶樹 H21年卒 元主将

「(2部降格した時に主将をしていたから)常に気にしていた。申し訳ないと思っていたから本当に良かった。(後輩は)いろんな意味で大きくなった。頼もしい。ありがとう。お疲れ様



海田智行 H22年卒 前副主将、現・日本生命

「1年生の頃からまとまりのある学年だったので、4年生になった時には強くなると思っていた。2部で4年生を迎えさせてしまい申し訳ない気持ちだったが、今季駒大を1部に復帰させてくれて、後輩たちには感謝の気持ちでいっぱい」



増井浩俊 H19年卒 現・北海道日本ハムファイターズ

「(1部復帰は)いつ1部に上がってくれるのかと心配しながら見ていた。頑張ってくれたなと思う。(注目している選手は)3年生の白崎(勇)。ピッチャーで結構いいという評判を聞いていから注目している。から。気にしてしまうし注目している。(後輩に一言)1部に上がったけど、これで満足することなく優勝目指して頑張ってもらいたい」



中畑 清氏 現、野球部OB会長

「おめでとう。よくやった。苦しめば苦しむほど、上がった時の喜びを感じる。(延長戦を制したのは)みんなの応援だな。感動した。ここがスタートライン」



太田 誠前監督

「何か今までの試合とは違うものを感じた。神宮第2球場でやるより、やっぱり神宮でやる方が野球が上手に見える。まだまだこれから。頑張ってもらわないとね」

椎葉 謙 H22年卒 前副主将、現・東芝

「まずは1部復帰おめでとうと言いたい。本当なら自分たちが1部に戻して、今の4年生たちには神宮第1でプレーしてもらわなければいけなかったのだから申し訳ないと思っている。でも後輩たちのプレーはとても頼もしく1部でも駒大野球を見せてくれることを楽しみにしている」



新井貴浩 H11年卒 現・阪神タイガース

「(1部復帰は)うれしい。ずっと気になっていた。大変だったと思う。入替戦は見に行きたかったけど用事があって行けなかった。でも行ったOBから電話があって...ずっと感動していたらしいというのを聞いて見に行きたかったと思った(笑い)。久々に涙の出る試合だったって言っていた。(後輩に一言)まずはおめでとうってこと。でもこれがスタートライン。頑張っ



林 裕也 H22年卒 前主将、現・東芝

「本当に良かった。良いチームだ。苦しかったと思うけど結果も出せて。解放されたんじゃないかな。(選手たちに)おめでとう」

